

各家庭で取り組む防災活動

いざというときに一人ひとりが適切な避難行動をとれるよう、家族や地域の方などと様々なシーンの避難行動について話をしておきましょう。

書いてみよう／ 避難場所の確認

- ・自宅からの避難の場合は？
- ・会社や学校など、外出先からの避難の場合は？

調べてみよう／ 避難経路の確認

避難場所への道順だけでなく、途中の危険箇所や休憩できる場所、トイレの場所なども確認しておきましょう。



阪神淡路大震災では、亡くなった方の約 8 割、能登半島地震では、亡くなった方の約 6 割が建物の倒壊や家具の転倒による圧死や窒息死でした。

このことから

① つぶれない家に住むこと ② 家具の転倒対策を行うこと

が非常に重要です。がれきに閉じ込められたり、転倒した家具の下敷きになったりして動けなくなると、あとから来る津波や火災に巻き込まれてしまうかもしれません。自分が無傷であればこそ、自分や大切な人の命を守る行動ができます。

家族でお家のことについて確認してみましょう。

1
住宅の耐震診断、耐震補強

2
家具は柱や壁に金具・つっぱり棒などで固定する

3
テレビ、冷蔵庫は粘着マットやベルト式のもので固定する

4
食器棚などの扉に、開き防止・飛び出し防止器具を取り付ける

5
ガラス製品（窓、家具）に飛散防止フィルムをはる

6
寝室や出入口付近に家具を置かない・寝ている上に倒れてこない配置にする

7
寝室には非常持ち出し袋や脱出用の履き物を用意しておく

8
家の周りの危険なブロック塀の安全点検・対策をする

災害用伝言ダイヤル（171）

大規模な災害が発生し、電話がつながりにくくなった時に利用できる声の伝言板です。1つの電話番号を起点にして、伝言の登録・再生をすることができます。1つの電話番号につき、最大20件の伝言を登録することができます。



災害用伝言板（web171）

<http://www.web171.jp>
インターネットを利用して、被災地の方の安否確認が行える伝言板です。伝言の登録・更新・閲覧ができます。



もしも地震が起こったら ～災害時の行動をイメージしよう～

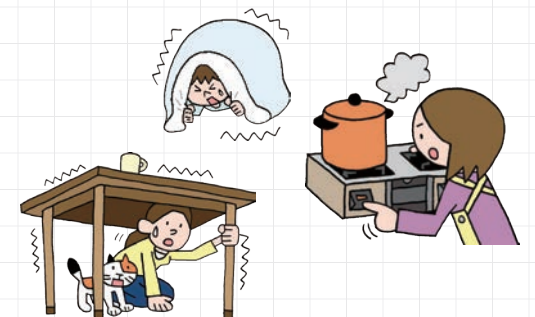


緊急地震速報

緊急地震速報は、最大震度5弱以上が予想されたときにテレビ・ラジオやスマートフォンなどで報知音とともに伝えられます。

大地震発生（南海トラフ巨大地震など）

- ・落ち着いて、自分の身の安全を確保します。机の下などにもぐり、頭部などを保護しましょう。
- ・揺れが収まったら火の始末をし、元栓を閉めます。
- ・ブレーカーを切ります。
- ・ドア、窓を開けて脱出口を確保しましょう。



津波が来る可能性がありますので、すぐに避難目標地点に避難してください

有田市では、地震発生後34分で津波が到達する想定です。

※到達が早くなる可能性があります！

- ・地震の余震に注意してください。
- ・津波警報等を確認しましょう。
- ・家族の安全を確認しましょう。
- ・隣近所で声を掛け合いましょう。特に一人暮らしの高齢者などの安否を確認してください。
- ・外に逃げるときはあわてずに！非常持ち出し袋を持って避難します。瓦や窓ガラスなど落下物に注意しましょう。避難は原則徒歩で、みんなで声かけしながら避難しましょう。



避難目標地点に着いたら、津波が収まるまで待機

- ・津波は一波だけではなく、繰り返し何度もきます。津波警報や注意報の解除まで気をゆるめないように！

津波が収まったら、自宅の確認又は指定避難所へ

- ・自宅の被害やライフラインの状況を確認してください。
- ・自宅での生活が難しい方は、非常持出袋を持ち指定避難所へ向かってください。戸締りをして避難所へ！

指定避難所（学校等）での生活

- ・指定避難所ではお互いの助け合いが大切です。集まったみんなで資機材等を配置し、生活スペースを作ります。必ずルールを守ってください。
- ・指定避難所（学校）には備蓄品があります（※1日分）。備蓄品には限りがありますので、非常持出袋に食料等も入れておいてください。

国・県からの支援

- ・国、県からの食料や飲料、物資等の支援には数日かかると想定されます。被災者みんなで助け合いながら、ルールを決めて生活しましょう。

